

会議名	令和5年度（2023年度）第1回 情報化推進懇談会
日時	令和5年9月1日（金）13:00～15:00
場所	吹田市役所 特別会議室
資料	<p>【資料1】 令和5年度吹田市情報化推進懇談会委員名簿</p> <p>【資料2】 第1回情報化推進懇談会資料</p> <p>【資料3】 参考資料1 第4期情報化推進計画アクションプラン進捗</p> <p>【資料4】 参考資料2 アンケート単純集計</p> <p>【次第】 令和5年度第1回懇談会次第</p>
出席者	<p><委員></p> <p>柴田委員（座長）、柳瀬委員（副座長）、E委員、B委員、C委員 D委員、A委員</p> <p><学生ワーキンググループ></p> <p>菅野氏（学生ワーキンググループ代表）</p> <p><事務局></p> <p>今峰行政経営部長、武井情報政策室長、濱田情報政策室参事、松井情報政策室主幹、北情報政策室主任、有限監査法人トーマツ</p>
傍聴	1名
議事録	<p><発言者> <発言内容></p> <p><行政経営部長挨拶></p> <p>行政経営部長 本日はお忙しい中、吹田市情報化推進懇談会に御出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>また、平素より各分野におかれまして、本市行政の推進に御協力、御支援賜り、重ねて御礼申し上げます。</p> <p>さて、本市におきましては、現在、第4期の情報化推進計画を令和元年度から5年間の計画として策定し、各種施策を推進しているところでございます。</p> <p>計画策定後に新型コロナウイルス感染症の流行や、デジタルトランスフォーメーションといったような様々な情報化推進の加速化の動きもありましたことから、計画を基本にしつつも、緊急的な対応等を含めて柔軟に進めて参ったところです。</p> <p>本計画、今年度が計画の最終年度となっておりますので、現在次期計画の策定に向けまして、事務局で市民意見等を聴取しながら作業を進めさせていただきます。</p>

	<p>本懇談会は今年度2回予定させていただきますが、委員の皆様から幅広く御意見を頂戴いたしまして、次期計画のインプットとさせていただきますと考えております。</p> <p>お忙しいことも踏まえまして、限られた回数、時間とはなっておりますが、ぜひ積極的に活発な御議論をいただきまして、次期計画への御協力をいただきますことをお願い申し上げまして、私からの挨拶とさせていただきます。</p> <p>今年度2回、どうぞよろしくお願いたします。</p>
事務局	<座長、副座長、委員、学生ワーキンググループ代表、事務局の紹介>
座長	<p>それでは引き続きお手元の次第にそって進めさせていただきます。</p> <p>次第3の次期吹田市情報化推進計画について、事務局から説明をよろしくお願いたします。</p>
事務局	<【資料2】に基づき事務局より説明>
座長	<p>説明が終わりましたので、質問も含めディスカッションに移ります。</p> <p>事務局からの説明にもありましたとおり、本日は(仮称)第5期吹田市情報化推進計画における長期目標である「ミッション」と中期目標である「ビジョン」になるべきキーワード、フレーズ、キャッチコピー、宣言などについて、皆様の御意見を賜りたいと思います。</p> <p>ディスカッションに入りますが、まず先ほどの説明等で御質問等がある方はいらっしゃいますか。</p>
副座長	<p>ミッションの例についてですが、このミッションというのは吹田市のあるべき姿ということで、吹田市そのものが目指すところという意味でしょうか。例が市役所の実現となっており、ミッションの例として少しピンと来なかったです。</p>
事務局	<p>御認識のとおり、市役所や組織そのものではなく、吹田市全体の理想形を設定したいと考えており、市民の皆様も含めて「このようにやっていきたい」という御意見がいただければと思っています。</p>
座長	<p>ありがとうございます。リモートのA委員は御質問や御意見はございますか。</p>

A委員	<p>ミッションとビジョンの違いについて、ミッションがより大きな最終的な目標や、より抽象的な概念を表しており、ビジョンは、セキュリティ対策等の具体的な施策項目という形になっているという理解でよろしかったでしょうか。</p>
事務局	<p>御理解のとおりになります。</p>
座長	<p>ありがとうございます。</p> <p>皆様に、今回この会議の目的である、ミッション、ビジョンになるべきキーワード、フレーズ、キャッチコピー、宣言などについて、ご意見賜りたいと思いますが、キーワード等いきなり考えを出すのはなかなか難しいので、その元になるような考え方、アイデア等があればお出しただきたいと思っています。</p> <p>ただ、発言が必ずしも実現されるわけではないので、ブレインストーミングのような感じで、実現可能性に関しては今日のところは少し目を瞑って、できたら理想的にはこうあって欲しいという内容で結構なので、普段お住まいの吹田市に関して、「こうあって欲しい」というような、御意見ございましたらよろしく願いたいします。</p> <p>先ほど説明のあったアンケートも回答率が悪く、一応8割近くの方が進んでいると感じていますが、逆に言うと2割の方は、満足していないということです。同計画の第2期から懇談会に参加させていただいていますが、毎回最後でデジタルデバインドの話になり、デジタル化、ICT化というのを進めていっても使えない人が出てきてしまい、その方たちをどうするのかという話になります。例にもありましたが、SDGsにもある、誰一人取り残さないという中で、取り残される人たちが、やはり出てくるというところがあります。そこはもう少し目途をつける必要あると考えます。</p> <p>また、先ほども少し申し上げたアンケートが、3分の1以下というのは回収率が悪く、1,000を超えないと統計学的にあまり意味を成さないと考えます。そうするとどうして今回のアンケートに対して、回答していただけないのか。文書を3,000名の方に送られたそうですが、それとは別に、ホームページからも答えられるようにしていただいて、ホームページからお答えいただいても、900名程しか返ってこないとのこと。アンケートを回答する人が逃げてしまうような質問の仕方をすると、答えてくれないということがあります。恐らく今回のアンケートに関しても、</p>

	<p>答えようと思っても、少し面倒だなというようなところがあったのではないかと思っています。吹田市役所が、市民の方に良かれと思ってやろうとしていることと、市民の方がやって欲しいというところに、大きな齟齬があるのが、このアンケートからも感じられます。</p> <p>今回このような会議を開催したのも、普段お住まいになっている市民の方が、どう思っているのか意見を吸い上げたい思いがあります。貴重な皆様の税金を使って行うわけですから、吹田市役所がやりたいことではなく、市民の人たちがやって欲しいことにお金を使う、時間を使う、労力を使うようにしないと、いつまでも良くなれないと思います。せっかくこういう会議を持っているので、皆様が普段お住まいになって、「こうなって欲しい」ということをぜひお聞かせください。</p> <p>IT化やデジタル化を進め、効率を求めるような方向に行っても、結局人間そっち退けや市民そっち退けとなり、良かれと思ってやっていることが必ずしも市民の方が望むことではない場合もあります。その隙間を埋めていかない限りは、いつまでたっても、やっていることは必ずしも受け入れられないということになると思います。</p> <p>今日ご参加いただいている委員の皆様で何か御意見はないですか。B委員はどうですか。</p> <p>B委員</p> <p>初めて参加させていただいて、このように議論をされて、市民の皆様がより暮らしやすくなるための努力をなさっていたということが分かりました。</p> <p>「誰もが取り残されない」というフレーズを学生ワーキンググループの皆様が考えてくれて、素敵だなと感じました。確かに、自分には関係ないと思っている方が一定数おられると思います。だからアンケートが来ても、「私には関係ない」と思われ、回答されない選択をされた方もおられると思います。「あなたのことですよ!」という当事者意識、「このことは自分に関係あるな」ということが分かるようなフレーズがいいなと思います。</p> <p>そのため、アンケートでも70歳以上の方の評価が一番低かったが、そもそも自分には関係ないと思っているからだと思うので、誰もが取り残されないということは、そういう意味も含めて、「あなたのことですよ」と、「あなたの住んでいる吹田市が、こんなことで良くなりますよ」、「それが私にとってもメリットがある」みたいなメッセージが伝わったらいいと思います。</p> <p>学生ワーキンググループの皆様が一生懸命考えてくださった、誰一人</p>
--	---

	<p>取り残さないデジタル化の、誰一人というのは自分のことだと分かっていたら良いと考えます。そういう方々にターゲット絞ってアンケートを取るということは、アンケートの手法としては良くないことでしょうか。</p>
座長	<p>アンケート手法で一番良いのはランダムです。対象を決めてしまうとデータが偏ってしまい、そういう意識がある人たちの意見ということになってしまうと思います。</p>
B委員	<p>「あなた方のことだから真剣に考えて答えて」というような一押しがあれば、アンケートも答えていただけたのかと思いましたが、対象を特定するアンケート調査はふさわしくないということですね。</p>
座長	<p>それは、今回出していただきたいキーワードやフレーズの一つだと思いますが、要するに市民一人一人が当事者、いわゆる主役、観客ではなくて、演じる主役になるというような市政を実現していただきたいというようなことですね。非常に良い意見、ありがとうございました。 それでは順番に、C委員はどうですか。</p>
C委員	<p>私も座長と一緒に3期目でありまして、個人的な見解としてはあまりデジタル化が進んでいるようには感じない部分が結構あります。もう少しスピードアップしていただければ、ありがたいと感じている次第です。 デジタルによる効率化のところももちろんそうだと思いますが、一人一人の人と繋がるということに関しても、もっとAI等の最新技術を使っていただければ嬉しいなと思います。 私はフルリモートで自殺予防の相談業務等の仕事もしています。その中で、例えば対象者がインターネット上で各設問に答える時に、ボタンを押す速度、何秒後に押したのかなどのデータを分析することで、設問の回答からは見えない、心の部分について統計取った研究等も進んでいます。子育て領域だとエジンバラという、気持ちのしんどさをはかるテストがありますが、本当のことを書いていないお母さんが、結構いらっしゃいます。助産師さんや現場でお仕事をされている方は、その違和感を経験上で感じ取り対応されていますが、AIを使うことでデジタルを活用することができて、具体的なデータを吸い上げることができ、もっと繋がりやすい方と繋がるためにも、こういったデジタルの部分を使っていただけると、本当に繋がりが必要な方と繋がると思</p>

<p>座長</p>	<p>いますので、ぜひもっとスピードアップしていただけたらありがたいなと思っています。以上です。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>大阪府の取組で学校のいじめの早期発見をするのに、普段の生徒の作文とか、会話を書き起こして、それをAIで分析させています。いじめは、いじている方もいじめられている方もなかなか表に出てこないの、結局何かあった時に、学校は気がつきませんでしたとなり、それはもう言い訳にしかならないため、このような取組を教育分野では実施されています。</p> <p>先ほどC委員がおっしゃっていたように、何かホームページ等でいろいろコメントが書かれているものを、人間が見ていたらとても手間がかかりますが、それをコンピューターで対応すると、気がつかないような特徴等を出してくれるので、そういうところを、ぜひ急ぎで対応いただければと思っています。</p> <p>人間が見ると感情や主観が入って、これはできたら見たくないというようなコメントもあると思いますが、その辺は機械、デジタルを通過することによってフィルターをかけてくれて、特徴だけでも出してもらえと思うので、そういうのをぜひ活用していただければと思います。</p> <p>貴重な意見ありがとうございました。</p> <p>次、D委員は何かございますか。</p>
<p>D委員</p>	<p>初めて参加させていただき、あまり分かっていない気もしますが、まず基本的なデジタル化を進めるという大方針であるのであれば、情報の発信の仕方は私たちもよく考えます。プッシュして相手に届けるものと、相手から来てもらうプル型のもの、大きく二つに分けられ、私たちはプッシュ媒体とプル媒体と呼んでいますが、プッシュするのであれば、御自宅に投函している広報誌が一番のプッシュメディアなのかなと思います。</p> <p>「これを見てください」というのはプッシュであると考えますが、デジタルの場合であれば見に来てくださいなので、「見に来てください」にするのであれば、常に内容が大事だなと思っています。</p> <p>私たちの作成する媒体はいろいろな事業者様の情報が載っていますが、例えば飲食店であれば、いかに情報配信が上手でも正直美味しくなかったら厳しいです。結局情報配信をしても受け取った人が、「これいいよね。」と思って1回目は活用しても、そのあと続かないというようなこ</p>

ともあるので、常に情報の中身が大事だなと考えています。いかに情報配信の形が変わっても、結局のところは「中身が大事」という話になると思います。

そのため、こういう市の施策などでも、突き詰めると極論になってしまっていますが、中身をいかに磨くことではないのかと思います。

デジタルでいうと、この例に書かれている「誰も取り残されない」。この例のままで僕は良いと思いました。でも恩恵を受けるためには、私の親もですが、やはりITやデジタル系はすごく苦手意識があるので、どこかでしっかり教えてあげなければ、いつまでたっても平行線であり、紙でやらなければいけない情報はずっと残るだろうなと思い、課題はあると思います。

また、私が住んでいるのは豊中市ですが、ポイントを配布するマチカネポイントアプリというのがあり、それができた時は、とても画期的だと思いました。コロナで、生活応援企画等はいろいろ出ましたけれども、Pay Payや、au Pay等から、ポイントをばらまく施策というのは、各デジタルメディアのいわゆる他の禪を使って配信していき、結局それを行うことによって、市民はもちろん20%の割引を受けたり、恩恵を受けられるが、そのあとの紐付きというか、人の繋がりというのは、別に残らないと思います。豊中市のマチカネポイントアプリは市自ら作ってまして、お店に行くとそのマチカネポイントアプリでポイントがもらえます。2,000ポイントもらったら、マチカネポイントアプリでポイント使っていく。その何が良いのかというと、そのあとに「アンケートの回答をしてください」、「こういうスタンプラリーに参加してください」、「こういう企画あります」と、プッシュでの報告が可能です。デジタルの中で唯一プッシュと思うのはアプリの通知であり、このプッシュができるようなデジタル化がどんどん進むのであれば、アプリも検討していきながら、お店の参画を促したり、高齢者の方にも参加を促すことが大事であると思います。誰もが恩恵を受けるということであれば、プルでは駄目かなと思いますし、プッシュでやるのであれば、皆さんのスマートフォンに、アプリを入れていくのが必要なのかなと思います。そうなると、デジタル化が進んだなという印象も、受けるのではないかなと思いました。

座長

ありがとうございました。

次、A委員は何かございますか。

A委員	<p>昨年頃に吹田の方に引っ越しをし、住むようになって感じるのは、行政サービスなどで住みやすい部分が結構大きいと思っています。例えばごみも捨てやすいですし、よく利用している体育館のジムなど、とても良いサービスがありますが、そういったものは広報誌でたまたま見て、「使える」と分かることや、自分でホームページを調べて分かります。プッシュ型プル型というようなお話もありましたが、やはり情報をどうやって市民の方々が受け取れるようにしていくのが課題で、議論を聞いていて、プッシュ型プル型の両方をどうやってうまく活用して、情報を伝えていくのかというところがとても大事になってくるのかなと思いました。</p> <p>プッシュ型の情報発信がやはり大事なのだろうなと思っていましたが、D委員のご発言で、プル型の方は内容がすごく大事になってくるというようなお話を聞いて、共感しました。であれば内容をどう充実していくのか、市がどう情報発信していくのか、内容を充実させていくのか。また、市民の方が、一目に見たいと思ってもらえるような場所、印象、面白そうだなという情報にしていくことがまずは大事だと思います。</p> <p>また、先ほどからお話が上がっている、市民一人一人が主役になるような市政の実現、誰もがというような、キーワードやフレーズ、一人一人がというようなところがとても大事だなと思っています。</p> <p>便利さに関しては、何が便利かという定義は世代や人それぞれ異なると思いますので、デジタルや情報化の議論する場ではありますが、例えばデジタルありきではなく、デジタルを手段として、サービスや業務が具体的にどうなれば、市民の方々がより便利に、一人一人が感じるかということから、デジタルをどう活用していくのか手段として考えていく考え方が重要なのかなと思いました。</p>
座長	<p>ありがとうございます。</p> <p>同じキーワードが出てきていますけれど、主役は市民であり、情報もプッシュでということですね。</p> <p>この件は共通した意見だと思いますが、市民の方が興味のあるコンテンツや内容に関しては、それこそChatGPT等が有効かと思います。ChatGPTに全てを頼るわけではなく、考え方や方法を検討する際のヒントとして、気づきを与えてくれる。AIは一人の人間が一生のうちで、目にする情報よりもはるかに多い文章を学習しています。人間が気付かないようなアイデアを出してくれるので、候補をいくつか出してもらい、選択肢の一つということで、市民の皆様が興味を持てるような内容で、ホームペ</p>

E委員	<p>ージ等もそうですし、文章を出すにしても分かりやすい文章を手がけていただければと思っています。</p> <p>そのためにも、AIを早く、実現、実稼働させることを頑張っていたきたいと思います。</p> <p>私は吹田市に住んでいないのですが、私が想像したのは、20年以上前の学生時代に、u-Japan政策の利用イメージを実現するための動画があり、現在でも実現できていないソリューションがありました。</p> <p>例えばスマートウォッチのようなものがあり、押したら画面が出てきて相手が写って会話ができるとか、いきなりVRのような空間が出てきて、そこで食事会ができるという話がありました。恐らくそういったことの実現はまだ無理ですが、そういったものを作ろうとしており、目指すべき道ではないのかと思います。</p> <p>その中の一つに、例えば高齢者がジョギングをしながら歩いていて、少し疲れたからベンチに座ると腕時計から音が鳴り始めて、会話をするとうち主治医が出て、「心拍高いですけどどうですか、危なくないですか」といったような、デジタルを活用して健康管理をするとか、他にも小学生たちが寄り道をしていたら、親に情報が入り、把握できるようになるようなイメージもありました。老若男女、誰もが取り残されないことを目指して行っているんで、それはやはり一つのキーワードだと思います。</p> <p>セキュリティの観点からも、サイバーセキュリティ戦略に、誰もが取り残されないとあったはずなんです。やはりセキュリティ上からもそれは言えるのかなと思っています。</p> <p>東日本大震災でも繋がりがなくなり孤独死する等の話がありますし、やはり繋がりは大事なので、人が繋がって、誰もが取り残されないような形になれば一番いいのではないかと、個人的には思っています。</p> <p>それを実現するために、いくつか施策を書いていたりはしますが、せっかく吹田市には多くの大学もあるので教育関係も含めた方が良いでしょうと思います。</p> <p>先ほどのセキュリティの話でも、私も資格を持っており、今eラーニングを受講しているため覚えているのですが、やはり教育していかないとなかなか身につかないですし、使ってもらおうとしても、リテラシーが上がらなければ絶対使わないので、例えば私もApple Watchを使っていますが、これを誰かに渡した時にApple Watchをすぐ使えるのかということなかなか難しいと思います。私も慣れるまで少し時間かかったので、使うための教育等を受けるために、こちらから何か提供するとか、様々</p>
-----	--

	<p>なプログラムが必要と考えます。やはり人が大事な資源だと思うので、システムだけではなくて人を伸ばすような形に持っていった方が、より良い吹田市の理想像になるのではないかと考えています。</p>
座長	<p>E委員もおっしゃっているように、やはり人間中心ということで、人間が大事であり、ハードばかり先に進んでいますが、人と物、別々に考えないで、やっぱり中心は人間であります。人を見ながら物も進めていかないと、物ばかり先走っても駄目であると思います。</p> <p>学生の数が非常に多い市ですからその学生を利用するというのも、お互いにとってWin-Winの関係になると思いますので、かねてより問題になっているデジタルデバイドなどの観点からも、市民を繋げるということに関しても、利用できるのではと思います。</p>
E委員	<p>今回は情報化なのでDXが良いと思いますが、恐らく吹田市全体としては、常に情報化等する必要はないと考えています。結局DXは手段であり、結局それを使って何かするだけの話なので、別に情報化しなくても、デジタル化しなくても、別の観点から、とても良いものができるのであれば、別にそちらで良いと考えます。</p> <p>全体として、ここはアナログで行った方が実はいいとなれば、もう少し大きい全体像になると思いますが、それも踏まえた上で考えてもらった方がありがたいかなと思います。つまり何でもかんでもデジタル化するというのは、私はどうかと考えています。</p>
座長	<p>デジタル化が唯一の手段ではなく、人間ができないところをデジタルで行ってもらい、先ほどもありましたが、人間では気がつかないような意見、情報をデジタルで見つけてもらい、あくまでも中心、主役は人間、市民であるということであると思います。</p> <p>最後、副座長お願いいたします。</p>
副座長	<p>私もデジタル化ということはあくまでも手段であるので、あまり目的に置くのではないほうがよいと考えます。</p> <p>今回策定方針の二つ目にある中で、総合計画との関係性を整理し直すというところが謳われていたと思いますが、とても大事だと思っています。そもそも吹田市の総合計画というのは、吹田市の全体をしっかりと網羅する形で計画を立てられているわけで、その中にはデジタル化が今</p>

座長	<p>よりも促進していくことが必要なものもあれば、アナログの方がより良いというものが当然入ってくると思います。その辺のところできっちり整理を行い、その中でより具体的にデジタル化を進めるものを絞っていくのがいいかと思います。</p> <p>今回、その整理を策定方針できっちり示されているところは、とても良いと思っております。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>また繰り返しになりますが、デジタル化ありきではないということ、手段として、人間ができないところをデジタルで行うということだと思います。</p> <p>では、本日参加している学生ワーキンググループに参加した学生の代表に、何かワークショップで感じたことや、今までの議論も聞いて、若い感性でご意見をいただきたいと思っております。</p>
学生ワーキンググループ代表	<p>例えば最新技術がどんどん進んでも、それを市民の皆様が使えるようになって、市民の皆様の住みやすさに繋がるというのは、大分時間がかかると思います。「最新技術が進む」「市が導入する」「市民の皆様が便利になる」という3つのプロセスを通過する必要があり、市民の皆様が住みやすくなるには相当時間が必要です。</p> <p>少し思い切ったことをする必要もあると思っておりますし、それが行き過ぎても、市民の皆様がついてこれられないので、市民の皆様がついてこれるような、例えば、デジタル関連のことを気軽に相談できるような機関や組織を作ったり、また市民の皆様は、デジタルに関して何でもできるようになれば良いと思っているわけではなく、その人が使う範囲で使えるようになれば良いと思うので、市民の皆様がよりデジタルを身近に感じていただけるような何かが必要なのかなと思っております。</p>
座長	<p>最初に述べたとおり、市役所が良かれと思って行っていることが、本当に市民の人たちが行って欲しいことに合っているのか、全く別ではないけれど重なってないところもあるのではないのか。押し付けのデジタル化はあまり良くないですが、役所は企業と違って、予算を立てて次の年に執行となり、結構時間がかかります。施策等を今日決めて来月から始めるというようなことはなかなかできず、1年前に決める必要があります。先ほどC委員の話にもあったように、なかなか進まないというのは、準備しても予算執行になると、1年後とかになることもありますが、そ</p>

	<p>こを何とか英断して、先走っても良いのかなという感じで決断してやってみる。そのためにもこういう場で、市民の方それぞれの生の意見を聞いて、行く方向さえ間違わなければ良いと思います。思い切ることも大事なのかなと思います。</p> <p>御意見は一通り伺いましたが、今までの意見を踏まえた上で、或いは付け加え等で何かございませんか。</p>
C委員	<p>先ほどデジタル化は手段だという話があり、私も本当にそう思っています。私は吹田市民なので、ぜひ行政の方をお願いしたいのが、やはりデジタル化を進めることで、人との接点にできるだけ力を入れていただきたいと思います。役所の中を歩いていると、まだ紙が多く拝見できますが、ペーパーレス化を進めていただいて、データベースから引っ張っていろいろな情報を必要な時に出すというような方法も進めていただいて、書類仕事を少しでも減らして、人との接点に職員のお力を使っただきたいなど、市民として願います。</p>
座長	<p>やはり人が大事だと思います。デジタル化が目的ではなく、あくまで人間を手伝うため、人間を良くしていくためのデジタルだと思います。</p> <p>D委員はどうですか。</p>
D委員	<p>10年ぐらい前、デジタルガバメント2.0というものがアメリカで実施されその情報を少し調べたことがあるのですが、例えば市民の皆様が例えば町を歩いていて、道がくぼんで危ない箇所等を市で気付くことはなかなか難しいと思います。それらについて、市民が気付いたらすぐアプリに情報配信ができるようになっていて、それを見て市で解決できるものは何かを考えたりしていたのは、デジタル活用の良い事例ではないかと思います。</p> <p>数年前の北摂の震災時、とても慌てたと思いますが、私の子供もとてもびっくりして、学校もどういう対応をするのかなという感じでした。本来であれば、そういう震災や災害が起こる前に、対策等、考え方を理解しておくべきだと思いますが、例えば、「電気がないから暗い」や、「歩いていると危ない」と感じるのであれば、すぐ情報配信を行ってみんなで共有することで、何か解決するのではないかなと思います。</p> <p>市民参加型のまちづくりのような形で、デジタルを入れていくようなデジタルの使い方もあると思います。みんなでデジタルを活用して、吹田市を盛り上げていければと思います。</p>

座長	<p>先ほどプッシュとプルという話が出ましたけれども、市役所の方からプッシュするだけで、市民の方からプルするだけではなく、今のご意見は市民の方からもプッシュすることだと思えます。私も聞いたことがあるのは、街灯が切れているから、スマホなどを使って情報を届けるというようなことや、ごみの収集ができてないところを、写真を撮って送るといった事例は見たことがあります。</p> <p>今、NHKでも特ダネをビデオに撮って送ってくださいみたいなことを盛んに宣伝していますが、あの様な感じで、先ほどのプッシュ、プルに関しても、市民の方がプッシュする受け口も、やはり必要なのかなと思えます。</p> <p>常識的に考えて取り上げることができないような情報が入ってくるかもしれないですが、それはそれで全部を拾い上げる必要もないと思えます。10の情報があれば、例え一つでもきらりと光るようなものがあれば、それはきっと市民の方の利益にもなると思えます。それこそ先ほどの豊中市のポイントの事例のように、何か市民に返すという方法は良いと思えます。</p> <p>プッシュ、プルに関しても、市役所から見てプッシュ、プルではなく、市民の方から見て、プッシュできる仕組みは、考えていただいた方がいいのかなと思いました。</p> <p>A委員は何かありますでしょうか。</p>
A委員	<p>先ほど、デジタル化等で人的なリソースを人間のやりとりに充てていくみたいなお話もあったと思いますが、少し視点を変えて、職員の方の負担軽減みたいなのところに、デジタルを使っていくのはとても良いと思いました。</p> <p>今までも、文書管理の適正化や軽減というところが計画等にあがっていたりもするとは思いますが、そうした取り組みとして職員の方の負担を軽減して、市役所ってとても明るい雰囲気だなと思ってもらえたり、あるいは、そうした職員負担減に関する取組は、事例紹介として情報発信してみるのも良いと思いました。そうしたところで市民の方に、関連している取組等を応援してもらいたいなところも、ビジョンのところにあげても良いかなと思いました。</p>
座長	<p>先ほどの話のペーパーレスに関しても、紙を持っていると、情報セキュリティ上も良くはなく、紙の紛失などで機密データが入っていると、</p>

	<p>機密情報が漏れることにもなります。デジタル化は目に見えないところで紙が回っているイメージであり、その情報も一元化できるので、矛盾もなくなりスピードも上がると思います。それがおっしゃっていただいたように、職員の方の負担軽減に繋がると思います。</p> <p>そこで浮いた労働力を、市民の方に接する労力、労働に変えてもらえたらと思います。やはりデジタル化ありきではないですが、ペーパーレスはセキュリティ上もメリットがあると思います。紙の紛失で、同じような紙が周りに多くあるのではなく、市役所にこられた方も書類確認して、1回書いたら全部済むとなれば良いと思います。</p> <p>E委員、何かありますでしょうか。</p>
E委員	<p>もうほとんど出たような気はしますが、安全安心な話からすると、恐らくいくつかは出てきたと思いますが、書かれているビジョンの話の⑤～⑧は、基本的にはシステムの話です。</p> <p>ユーザーが使うということを前提にすると、教育の話もしましたが、リテラシーの向上、もっと言うなら、市民の意識に対する理解だと思います。様々な情報に対する理解、いわゆる醸成ではないですが、そこを行わないと安全、安心には到達しないと考えます。</p> <p>安全と安心は違って、安全は確かに基準が明確にあり、例えば個人情報保護であれば、安全にするためにどうすべきか、方法はいくらでも存在するが、それが安心かということ、いくら対策をとってもその理解がなければ、安心してもらえないと思います。</p> <p>先ほど座長からも話がありましたが、デジタル化するといくら対策をしても漏れいするのではないかとという人が理解をしなかったら、安心には思わないです。その人たちはデジタルの方が今は安全ですよと言っても、なかなか理解してもらえないとなると、基本は誰もが使えるようにするというのであれば、やはりその市民への理解をしていただき、正しく使うようになってもらうことが必要だと思います。</p> <p>私が先ほどお伝えした動画は、老若男女全員が理解して、正しく使っているからこそ、そのような世界ができるわけであって、例えば一部の人が理解できていなければ、対面の方が良い、オンラインは嫌になり、絶対そんな使い方はしないと思います。</p> <p>人と言いましたが、その人に対してどうアプローチをしていくのかという観点も入れておいた方が、今後ミッションを達成できると思います。</p>
座長	<p>それでは最後に副座長、いかがですか。</p>

副座長	<p>3年前でしたら欠席しか選択肢がなかったことですが、まさに今日デジタル化の恩恵を受けて、こういう形で東京からでも参加でき、今日の議論に触れさせていただいたことは、とても良かったと思っています。</p> <p>一方で、やはり、リアルの現場で皆さんの表情とか、間の取り方、いろいろなものを感じ取りながら、しっかりとコミュニケーションを取りながら議論に参加できたらと思ったりもしています。</p> <p>まとめをとてできるような状況ではないのですが、皆さんが本当に少しでも暮らしやすくしていくためにデジタルが有効に使われるということは、今後後退することはまずないので、それをどう進めていくのかになるかなと思います。何度も言いますが、やはり全体のマスタープランとの掛け合わせによって、その辺りがより具体化していくというところが一番望ましいと思います。</p>
座長	<p>対面もデジタルもそれぞれ良いところがありますので、施策も含めて良いところ取りをすることも良いと思います。</p> <p>ちょうど時間となりましたので、本日のディスカッションはこのあたりで終えたいと思います。事務局から事務連絡等がありますか。</p>
事務局	<p>次回の本会議、本懇談会の開催予定は、年明け1月で調整をさせていただきたいと存じます。また詳細につきましては、改めましてご案内を差し上げますので、御調整いただきまして、御出席賜りたく、よろしくお願いいたします。</p>
座長	<p>それではこれで会議を終わります。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>
一同	<p>ありがとうございました。</p> <p>閉会</p>